

3. 平成18年河川ランキング

- 河川毎に、平成18年の平均水質及び過去10年間の水質改善状況によるランキング並びに平成18年の環境基準の満足状況について評価する。
- 以下の条件を満たす166河川を対象とする。
 - 一級河川本川：直轄管理区間に調査地点^{注)}が2以上ある河川。
 - 一級河川支川：直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ直轄管理区間に調査地点^{注)}が2以上ある河川。

注) 湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点は含まない。
ダム貯水池は原則として調査地点に含まない。

(1) 平均水質によるランキング

BOD値による河川平均水質が上位（各調査地点のBOD平均値の平均（同じ値の場合はBOD75%値の平均）が小さい）の河川は表-1のとおりである。尻別川、沙流川は3年連続、後志利別川、鷓川は2年連続で1位となった。また、宮川は2年ぶり、黒部川、安倍川は8年ぶりに、高津川では初めて1位になった。川辺川は今年からとりまとめ対象となり、1位になった。

なお、平成18年においてBOD平均値が、人の手が入っていない河川並の水質とされる1.0mg/ℓ未満の河川は92河川あり、対象河川の55%を占めている。これらの河川はいずれも同程度に清浄な河川といえる。

表-1 BOD値による河川の水質状況（水質上位河川）

年	順位	地方名／河川名（水系名）	都道府県名	BOD (mg/ℓ)	
				平均値	(75%値)
平成18年	1	北海道／尻別川（尻別川水系）	北海道	0.5	(0.5)
		北海道／後志利別川（後志利別川水系）	北海道		
		北海道／鷓川（鷓川水系）	北海道		
		北海道／沙流川（沙流川水系）	北海道		
		北陸／黒部川（黒部川水系）	富山		
		中部／安倍川（安倍川水系）	静岡		
		中部／宮川（宮川水系）	三重		
		中国／高津川（高津川水系）	島根		
九州／川辺川（球磨川水系）	熊本				
平成17年	1	北海道／尻別川（尻別川水系）	北海道	0.5	(0.5)
		北海道／後志利別川（後志利別川水系）	北海道		
		北海道／鷓川（鷓川水系）	北海道		
		北海道／沙流川（沙流川水系）	北海道		
		北海道／札内川（十勝川水系）	北海道		
		北陸／荒川（荒川水系）	新潟		

一方、BOD値による河川平均水質が下位（各調査地点のBOD平均値の平均（同じ値の場合はBOD75%値の平均）が大きい）の5河川は、表-2のとおりである。平成17年と順位は異なるものの同一の河川である。

図-6に示すとおり、大和川や鶴見川で平成17年の水質に比べ改善が見られる一方、中川は平成17年の水質に比べ悪化が見られた。

表-2 BOD値による河川の水質状況（水質下位5河川）

年	順位	地方名／河川名（水系名）	都道府県名	BOD (mg/ℓ)	
				平均値	(75%値)
平成18年	1	近畿 / やまとがわ 大和川 (大和川水系)	大阪、奈良	4.7	(5.5)
	2	関東 / あやせがわ 綾瀬川 (利根川水系)	埼玉、東京	4.6	(5.5)
	3	関東 / つるみがわ 鶴見川 (鶴見川水系)	神奈川	4.3	(4.8)
	4	関東 / なかがわ 中川 (利根川水系)	埼玉、東京	4.2	(4.8)
	5	近畿 / いながわ 猪名川 (淀川水系)	大阪、兵庫	3.4	(4.2)
平成17年	1	近畿 / やまとがわ 大和川 (大和川水系)	大阪、奈良	6.4	(7.9)
	2	関東 / つるみがわ 鶴見川 (鶴見川水系)	神奈川	4.7	(6.0)
	3	関東 / あやせがわ 綾瀬川 (利根川水系)	埼玉、東京	4.7	(5.6)
	4	関東 / なかがわ 中川 (利根川水系)	埼玉、東京	3.7	(4.3)
	5	近畿 / いながわ 猪名川 (淀川水系)	大阪、兵庫	3.5	(4.0)

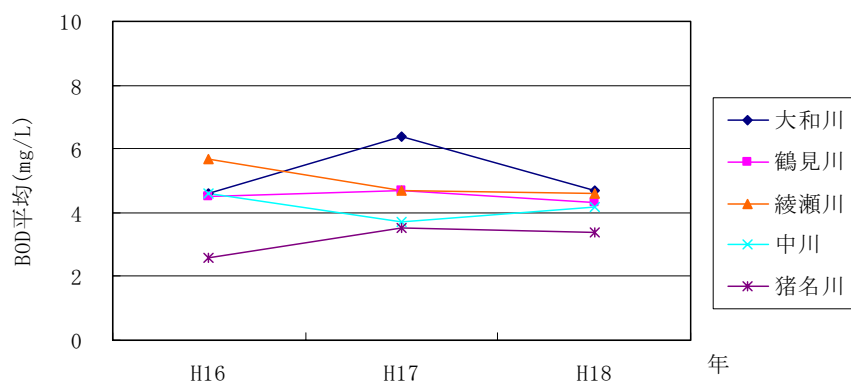


図-6 平成17年、平成18年の平均水質ランキング下位河川の水質の推移

(2) 過去10年間の水質改善状況によるランキング

平成17年と平成18年の2ヶ年の河川毎のBOD値の平均と、平成7年と平成8年の2ヶ年の河川毎のBOD値の平均から、10年間の水質改善幅による河川の水質改善状況を比較した。

数値が大きいほど10年間で水質改善が図られたことを示す。

表-3は、2ヶ年平均の水質改善幅の大きい上位5河川である。図-12には水質改善状況上位5河川の水質の改善傾向を示す。特に平成18年の河川平均水質ランキングが下位の綾瀬川、大和川及び鶴見川で大幅に水質が改善されている状況が見られる。これは、過去10年間に於ける下水道整備の進展や河川浄化事業（礫間接触酸化等）の実施等、流域における取り組みによるものと考えられる。

表-3 2ヶ年平均BOD値の改善幅による10年間の水質改善状況(上位5河川)

順位	地方名／河川名（水系名）	都道府県名	平成7、8年 BOD平均値 (mg/ℓ)	平成17、18年 BOD平均値 (mg/ℓ)	2ヶ年平均 水質改善幅 (mg/ℓ)
1	関東／綾瀬川（利根川水系） <small>あやせがわ とねがわすいけい</small>	埼玉、東京	9.8	4.7	5.1
2	近畿／大和川（大和川水系） <small>やまとがわ やまとがわすいけい</small>	大阪、奈良	10.4	5.6	4.8
3	関東／鶴見川（鶴見川水系） <small>つるみがわ つるみがわすいけい</small>	神奈川	7.9	4.5	3.4
4	四国／重信川（重信川水系） <small>しげのぶがわ しげのぶがわすいけい</small>	愛媛	2.9	1.1	1.8
5	東北／笹川（名取川水系） <small>さしかわ なとりがわすいけい</small>	宮城	2.6	1.0	1.6
5	関東／多摩川（多摩川水系） <small>たまがわ たまがわすいけい</small>	東京、神奈川	3.3	1.7	1.6
5	北陸／関川（関川水系） <small>せきかわ せきかわすいけい</small>	新潟	2.7	1.1	1.6

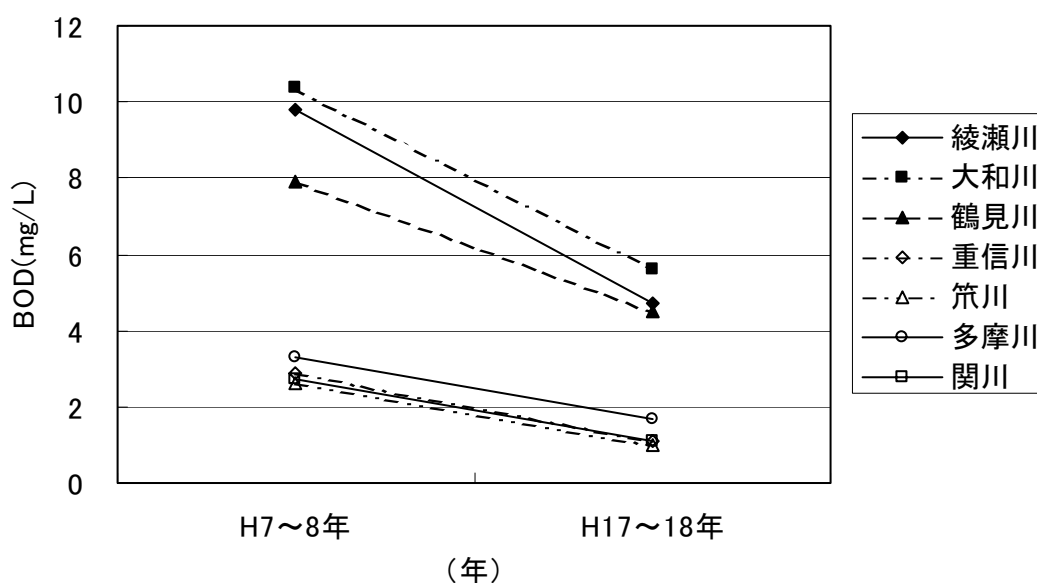


図-7 水質改善状況上位5河川の10年間の水質傾向

(3) 環境基準の満足状況

環境基準の類型は、河川毎にその状況等を踏まえ、水質に関して目指す姿として指定される。水質改善は環境基準を満足することを目標に取り組まれる。

対象河川のうち164河川で環境基準の類型指定がなされており、139河川では全ての調査地点で環境基準を満足している（表-4、参考資料3. 参照）。環境基準を満足していない調査地点のある25河川については、平均水質は良好であるが、一部の調査地点の水質のみが環境基準を満足できていない河川が多い。

なお、厳しい環境基準の類型指定をしている場合、BOD値が比較的低くても環境基準を満足できていない河川がある。

表-4 環境基準を満足していない調査地点のある河川一覧

環境基準を満足している調査地点の割合	河川数	地方名／河川名（水系名）	都道府県名
100%満足	139河川	—	—
80%以上 100%未満	7河川	関東 / 小貝川 (利根川水系) <86% 関東 / 富士川 (富士川水系) <86% 関東 / 多摩川 (多摩川水系) <85% 中部 / 矢作川 (矢作川水系) <83% 関東 / 那珂川 (那珂川水系) <83% 関東 / 渡良瀬川 (利根川水系) <83% 四国 / 重信川 (重信川水系) <80%	茨城、栃木 山梨、静岡 東京、神奈川 愛知 茨城、栃木 群馬、茨城、栃木 愛媛
60%以上 80%未満	11河川	関東 / 荒川 (荒川水系) <77% 関東 / 鶴見川 (鶴見川水系) <75% 関東 / 笛吹川 (富士川水系) <75% 中国 / 日野川 (日野川水系) <75% 中国 / 芦田川 (芦田川水系) <71% 関東 / 烏川 (利根川水系) <67% 関東 / 利根川 (利根川水系) <67% 中部 / 大井川 (大井川水系) <67% 近畿 / 猪名川 (淀川水系) <67% 四国 / 土器川 (土器川水系) <67% 関東 / 中川 (利根川水系) <60%	埼玉、東京 神奈川 山梨 鳥取 広島 群馬 茨城、群馬、千葉、埼玉 静岡 大阪、兵庫 香川 埼玉、東京
40%以上 60%未満	5河川	北海道 / 十勝川 (十勝川水系) <50% 北陸 / 信濃川 (信濃川水系) <50% 関東 / 荒川 (荒川水系) <50% 近畿 / 新宮川 (新宮川水系) <50% 四国 / 渡川 (渡川水系) <50%	北海道 長野 埼玉 三重、和歌山 高知
40%未満	2河川	近畿 / 大和川 (大和川水系) <38% 関東 / 綾瀬川 (利根川水系) <33%	大阪、奈良 埼玉、東京
類型未指定	2河川	—	
合計	166河川		

<>内は各河川における環境基準を満足している調査地点の割合